



21世紀の人間がどう生きるかという大切なメッセージがある」とメッセージを送り、  
北上市の市民憲章には「あの高嶺 鬼住む誇り 音の瀬音 久遠の賛歌 この大地 燃え立つ命 ここは北上」と歌う。

関西や西日本の「鬼」 丹後大江山・鳥取大山(伯耆溝口)・岡山吉備 鬼ヶ城の鬼 等々退治される鬼とは対照的である。  
冷静に考えてみれば、この「鬼」 関西人の僕らにとっても 同じルーツ・仲間なのです。

どうも 都に近いところで育ったものと地方の人たちの意識の違いの大きさに戸惑いを覚えたことがありました。

今の「東京・大阪」と「地方」の違い そっくりそのままではないでしょうか・・・。

若者と年寄り 大企業と中小企業の構図も。

中央一辺倒の流れが続く今、地方に目を向け、目を凝らさないとこの意識の違いや全体が見えないのでは・・・

切捨ては 効率で かっこよく写るのですが、必ず 行き着く先は 行き詰まること歴史が示している・・・。

あまりにも悲観的なのですが、その貧乏くじをひくのも・・・。

その時 自分の身に起こるまで気がつかぬのでは、あまりにもさびしい。

全体を揺るがす逆風を経験したことのない日本の中央では 足元が見えず、しかも、リーダーお任せの無責任な時代 ちょっとは 地方の意識にも 耳を傾けないと 自分の足元がぐらついていることに気がつかない。

年が変わり、節分の時節「鬼」が話題になるといつも 東北の「鬼」を思い出しながら、自分を振り返りつつ、こんなことが気になります。

また、中央の論理で議論されている道州制が 東北では 仙台へ向かう東北各地からのきめ細かい高速バスネットワークを始め、東京に向かうのではなく、仙台を東北の中核都市とした人・物の動きが大きな流れとなって進行しているという。同じ 流れは 西の福岡でも始まったと・・・。

中央では見えぬ21世紀の新しい胎動が始まっている。これは 中央が動いても もう つぶれない流れ。

何でも東京 そして 関西ではないし、すでにその間に 名古屋が割って入り、仙台・福岡で新しい動き。

おりしも、人の意識はすでにインターナショナルな日とも急激に増加。

TV・映画では 僕らはまだ外人と思っている人が、日本語をしゃべり、若い人たちはコスモポリタンに。

古代に起こった新しい国づくりの胎動が 今 21世紀の胎動が起こっている。

本当に 地球に優しい 地球人の時代が来るように

ヨーロッパも、日本と同じかと思いましたが、そうでもなく、ゆったりとした時間が街に流れている。

アメリカだって、救いはある。ゆるやかに 大河が流れるように 地道に時代が流れていると感じました。

「ただひたすら 動」

もっとも 好き勝手に 思いつくまま 気の向くまま かもしれませんが・・・

節分の「鬼」に思いを寄せながら・・・

2008. 2. 3. Mutsu Nakanishi

和鉄の道 Iron Road 【2】製鉄遺跡探訪 2001 & 2002 上

10. 日本各地の鬼伝説 鬼伝承の鬼は本当に悪者か??? 2003. 2. 3.

和鉄の道 Iron Road 【1】製鉄遺跡探訪 1995. 10. -2000. 5

8. 弘前ねぶたと岩木山北麓 鬼伝説の里 鬼沢 鬼神社・十腰内 巖鬼山神社を訪ねて 2000. 8. 4.

和鉄の道 Iron Road 【4】製鉄遺跡探訪 2004

6. 蝦夷の鉄・東北 和鉄の道 東北地方 和鉄の道 9編 取りまとめ 2004. 1. 18.

和鉄の道 Iron Road 【6】たたら遺跡探訪 2006

3. 蝦夷の雄「アテルイ」の足跡 「清水寺・将軍塚」 2006. 2. 9.



日本各地の鬼伝説 リスト		
1. 伯耆国	孝謙天皇 鬼退治伝説 日野川流域 楽楽福神社の伝承	鳥取県 溝口町
2. 北上の鬼	蝦夷の雄「アテルイ」 坂上田村麻呂の蝦夷征伐	岩手県一関・胆沢
3. 丹後国	大江山酒天童子伝承	京都府 大江町
4. 吉備国	「桃太郎伝説」の鬼ヶ城	岡山県総社市
5. 青森県	岩木山(巖鬼山)山麓の鬼伝説	青森県弘前市・鱈ヶ沢市

青森 岩木山(巖鬼山)山麓 鬼の里「鬼沢」



津軽 岩木山麓 鬼沢に伝わる「鬼伝説」  
青森県 弘前市 鬼沢

昔々このあたりはやせた荒地で、作物の実りはきわめて悪かった。そこへ、岩木山の赤倉から下りてきたという鬼が現れ、せせせとこの荒地を耕し始めた。村人達は、これを見て、ただの鬼ではないと思い、開墾の困難と農業用水の必要を鬼に訴えた。

すると鬼は、それでは力を貸そうと言ったきり、姿を消してしまった。翌朝になって村人たちが行ってみると荒地には、一筋の水の流れが勢いよくほとぼしっているではないか。

村人たちは、さっそくその水を田に引き、以後、その水は干ばつの時も決して枯れることはなかったという。

村人たちは、非常に喜んで、鬼に感謝するため、神社を建立して「鬼神社」と名づけ、村の名前も「鬼沢」としたという



北上(日高見)の『鬼』・蝦夷の族長「アテルイ」



岩手県北上市の市民憲章には  
「あの高嶺 鬼住む誇り その瀬音 久遠の賛歌  
この大地 燃えたついのち ここは北上」  
と誇らしく歌う  
この「鬼」とは古代「日高見(北上)川」沿いのこの地に  
住んだ自分たちの祖先 蝦夷の族長 日高見の鬼「アテルイ」  
とその一族 蝦夷 を指す



今から約 1200 年前 奈良時代の末期から平安時代初期にかけて坂上田村麻呂を征夷大將軍とした蝦夷征伐があった。

坂上田村麻呂がでるまで、朝廷が苦しめられ続けた蝦夷の族長が「アテルイ」  
この蝦夷征伐のもうひとつの側面は今まで輸入に頼っていた「金やくろがね」がこの蝦夷の支配地ですることによる鉱物資源の支配

朝廷の蝦夷征伐の大軍を苦しめ始めた蝦夷の族長がアテルイ。  
蝦夷の心情に共感しつつも戦わねばならなかった征夷大將軍坂上田村麻呂  
長年にわたる戦争の中で、アテルイは蝦夷の和平を願い、盟友・モレと約500人の兵とともに田村麻呂に降伏。

坂上田村麻呂の「蝦夷支配に活用できる人材」と助命嘆願もむなしく、アテルイは河内国で斬首。







大日堂とその寺域の中にある將軍塚 2006.2.9

「アテルイは親、兄弟を愛し、美しい自然を愛すために生きた。  
21世紀の人間がどう生きるかという大切なメッセージがある」  
と東北の人達はメッセージを送る。

【参考】

巨大勢力となった寺から逃れる為、奈良平城京から平安京へ遷都されたこの時代。東寺・西寺しか許されなかった平安京に蝦夷の制圧に成功した坂上田村麻呂は国家加護の道場として清水寺の建立を許されている。

東北にある蝦夷の勢力の強さがこのことから推察される。

また、坂上田村麻呂の頭の中に蝦夷の族長「アテルイ」への思いがあったかも知れぬ。その背後の東山 坂上田村麻呂が葬られた地には「將軍塚」の名前が今も残されている。東北の地にも、大將軍 將軍通りなどの地名が今も残る。



清水寺 南の谷に面する清水の舞台下の丘にある アテルイ・モシの猫影碑



福島県 沼原(ぬまっぱら)揚水発電所 上池貯水池 と 沼原湿原



安達太良連峰 鬼面山 新野地温泉より



55°Cの含鉄泉 赤



伯耆大山

孝靈天皇 鬼伝説 伯耆 溝口

—奈良福神社 古文書より—

伯耆の国日野郡溝口村の鬼住山に悪い鬼 が沢山住み着いていました。この鬼達は近くの村々に出ては人をさらったり、金や宝物・食べ物を持って人々を苦しめていました。これを聞いた孝靈天皇は、みずから軍勢を率いて鬼住山の南のこれより少し高い笹巻山(さすまき山)に登り、鬼住山の鬼達をことごとく退治されました。天皇が山に登り、布陣された時、人々は笹巻の団子を献上し、士気が大いに上がったといいます。それで、この山を笹巻山(さすまき山)と呼ぶようになりました。鬼をおびき出す為、山麓の赤坂というところに団子を三つ並べたところ、弟の鬼『乙牛鬚』が出てきて討たれました。兄の『大牛鬚』は大いに怒り、手下を束ね一層暴れ、容易に退治することが出来ません。ある晩 眠っている天皇に「笹の葉を刈って山のように積上げなさい。そうすると風が吹いてそれらを舞い上げ、鬼を連れ退治出来るでしょう」とのお告げがあった。これを聞いた天皇がその通りにすると三日目の朝、猛烈な南風が吹き、積上げた笹を「あれよあれよ」と鬼の住処の方へ、巻き上げて行きました。天皇はここぞとばかり、全軍を叱咤して、舞いあがった笹の葉を追い、鬼退治に向かいました。笹の葉に巻きつかれ、また枯葉が燃え、鬼達はなすすべも無く、麓に逃げて降参しました。人々は大笑いして 麓宮原の地に笹で社殿を吹き天皇を祭りしました。これが奈良福(ささふく)神社のいわれです。

